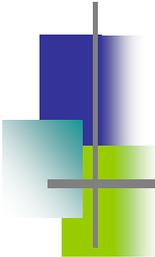




# 令和7年度 環境ISO責任者及び代表者研修

2025年4月

文京地区 総括環境責任者



# ISO14001とは

---

ISOとは、工業標準の策定を目的とする国際機関で、各国の標準化機関の連合体、**I**nternational **O**rganization for **S**tandardizationの略。ISO14001という規格では、あらゆる組織が自発的に、環境関連法規の遵守の下、自ら汚染の予防を含めた環境目標を定め、それを組織的に実現し、さらに**継続的な改善を行う仕組み（環境管理システム）**を構築し運営することを求めている。

※ ISO9001は、品質管理及び品質保証のための国際標準規格であり、本学医学部附属病院も取得している。

# なぜ教育機関が環境ISOを取るのか？

- ✓ **イメージ戦略** (企業イメージ↑、第三者認証の信頼性↑)
- ✓ **コスト削減** (省エネ効率↑、廃棄物↓)
- ✓ **市場での利益** (入学生確保、開拓)
- ✓ **顧客** (学生・保護者) **の信頼** (信頼性↑)
- ✓ **職員のメリット** (作業環境↑、環境教育↑)
- ✓ **環境上の利益** (環境影響↑↓)
- ✓ **社会的責任** (存在価値、組織力の向上↑)



# PDCAサイクルについて

環境管理システム  
(EMS: Environmental Management System)はPDCAサイクルを採用し、継続的改善を要求している。

福井大学はEMSに基づき、継続的にエコキャンパス作りに取り組んでいる。



# 部局環境責任者および ユニット代表者の職務

環境マネジメントマニュアルより( P.14参照)

<b>部局環境責任者</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>① 総括環境責任者と協力し、各部局における環境推進活動の支援</li><li>② 各部局における実施計画、手順順守状況等の監視測定に対する支援</li><li>③ 各部局における環境教育実施サポート</li><li>④ 総括環境責任者との連絡・報告・相談窓口</li></ul>
<b>ユニット代表者</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>① ユニットにおける環境保全・推進活動の実施、及び報告</li><li>② 部局環境責任者からの指示に従って、ユニットにおける実施計画、手順順守状況等の監視測定の実施</li><li>③ ユニットにおける構成員への環境教育の実施</li><li>④ その他実施計画運用上の各ユニットの役割への対応</li></ul>

# 本学の環境方針

～ クリーンなキャンパスと地球のために ～

1. 本学における教育・研究及びそれに伴うすべての活動から発生する地球環境に対する負荷の低減に努め、更に、それを通じて心身の健康を図る。
2. 地球環境や地域環境の保全・改善のための教育・研究を継続的に推進するとともに、地域社会との連携による環境保全・改善プログラムに積極的に参画する。
3. 環境関連法規、条例、協定、及び自主基準の要求事項を順守する。
4. この環境方針を達成するために、環境目標を設定し、すべての利害関係者が互いに協力し合いこれらの達成を図る。
5. 環境マネジメントシステムを確立するとともに、環境監査を実施し、これを定期的に見直し、継続的な改善を図る。

◎本学の環境方針は、環境マネジメントマニュアルP. 8及びホームページに掲載されています。

なお、ペーパーレス化に伴い、令和7年度より環境方針カードを廃止します。お手元の環境方針カードは、各自で廃棄してください。

# 本学の環境目標

## ●地球環境負荷の低減

エネルギーの抑制(電力・水・紙・重油など)

## ●教育・研究を通じた環境活動

環境教育・研究の充実、環境汚染防止技術の開発

## ●関連法規・自主基準の要求事項の遵守

環境汚染の防止、産業廃棄物の適正管理・適正処理など

## ●地域社会との連携

環境保全・改善プログラムへの参画、学外への情報発信

## ●その他の環境活動

植栽の適正管理、学内リサイクルなど



◎本学の環境目標は、環境マネジメントマニュアルP.25に掲載されています。

# 福大ビジョン2040

福大ビジョン2040では、未来像を具現化するためのミッションが掲げられています。その中には、SDGsやカーボンニュートラルなど、環境ISO活動と関連のある事項も含まれています。

## ■ 福井大学の未来像に向けたミッション

### 1.教育

- 深い実践的教養を備える卓越高度専門職業人の育成
- 学生のキャンパスライフの質向上
- 学びの母港構築による人生100年時代へ対応

### 2.研究

- 福井に根ざした人類知の創出
- 世界に通じる研究力とイノベーション創出
- 若手研究者の育成の実質化

### 3.国際化

- 世界と伍する教育研究環境の構築
- 「福井と世界を結ぶゲートウェイ」の実現

### 4.地域共創

- 地域活性化の中核拠点としての機能・役割の一層の強化
- 県内高校からの志願者増と卒業後の地元定着化

### 5.SDGs

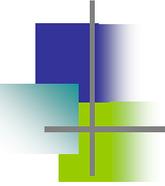
- 持続可能な社会の実現への寄与

### 6.カーボンニュートラル

- 地域のゼロカーボン・キャンパスのカーボンニュートラルの実現

### 7.経営マネジメント

- 適切な学部・大学院の体制・規模の確保
- 総力的大学経営の実現



# ユニットの主な環境保全活動

---

本学の環境目標を達成するために、各ユニットに求められる主な活動内容は以下の5項目です。

- ① 法規制の順守
- ② 節電・節水・紙使用量の削減
- ③ ゴミの分別回収と排出量削減
- ④ 実験廃液・生活排水の適正管理・処理
- ⑤ 環境保全に関する教育活動

# ①法規制の順守

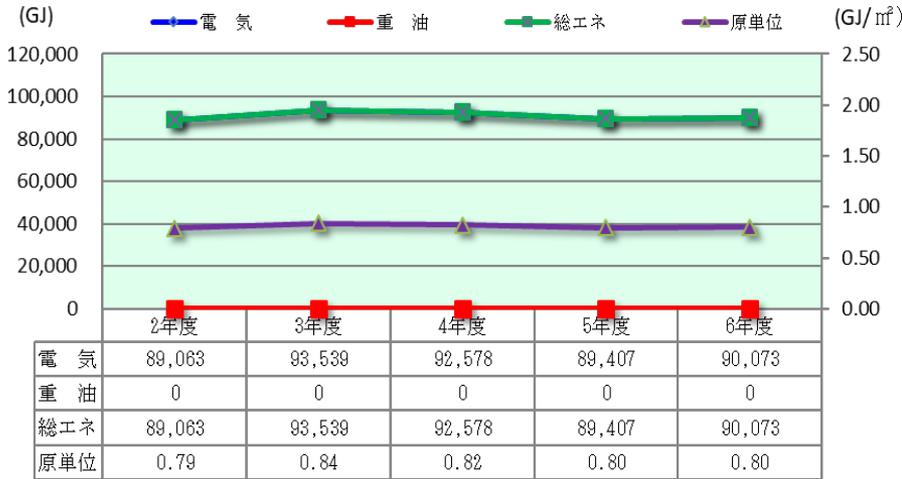
環境配慮促進法	環境配慮等の状況を公表(環境報告書の作成・公表)
省エネ法	エネルギー管理標準の設定と管理, 使用状況の報告, 排出抑制計画の作成・提出等
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス排出量の削減に協力, 排出抑制等に関する計画書作成・提出等
PRTR法	化学物質排出量・移動量の把握及び届出
水質汚濁防止法	特定有害物質使用特定施設の届出, 実験廃液の完全回収
騒音規制法・振動規制法	原動機等
毒物及び劇物取締法・消防法	薬品類・廃液の適正管理
下水道法・条例	実験廃液・生活排水
高圧ガス保安法	超低温施設・ボンベ
フロン排出抑制法	冷蔵庫・冷凍庫等
廃棄物処理法	有害廃棄物の適正管理・適正処理
健康増進法	受動喫煙の防止等

# ②節電・節水・紙使用量の削減

※附属学校園含む

## ■過去5年間の推移

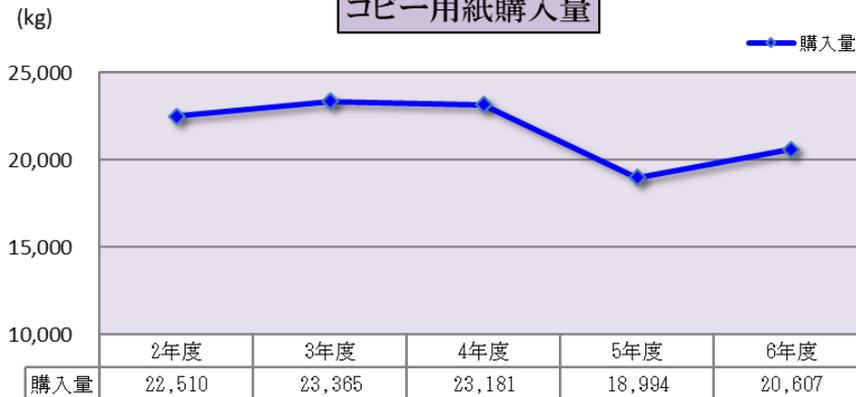
エネルギー使用量



給水使用量



コピー用紙購入量



### ～ 令和6年度の状況 ～

	総エネルギー使用量	給水使用量	コピー用紙購入量
前年度比	+0.7%	-0.5%	+8.5%

◎令和6年度は、前年度より総エネルギー及びコピー用紙が増加し、水は減少しました。総エネルギーが増加した要因は、前年度より暑い日が多かったためと考えられます。また、コピー用紙が増加した要因は、前年度のコピー用紙の買い控えが影響したものと考えられます。

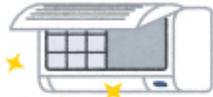
# ～削減するための主なポイント～

## ■総エネルギー使用量の削減

～前年比1%の削減を目標に！～



夏28℃  
冬20℃を目安に  
必要な時だけ使用



冷暖房機の  
フィルターは  
こまめに清掃しましょう



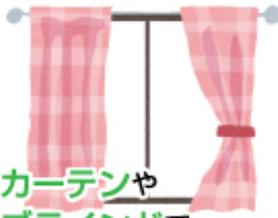
クールビズ  
ウォームビズを  
心がけましょう

節電



待機モード  
(省エネモード)を  
活用しましょう

扇風機を利用して  
冷たい空気  
暖まった空気を  
循環させましょう



カーテンや  
ブラインドで  
熱の出入りを防ぎましょう

off



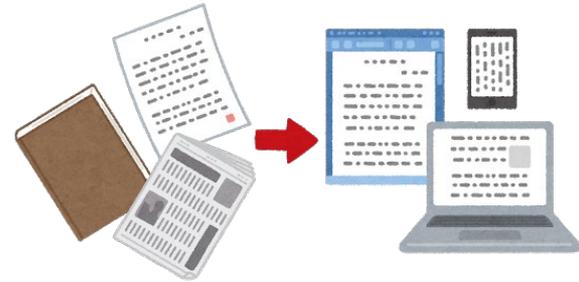
昼休み中や  
人のいない部屋は  
こまめに消灯しましょう

ドアや窓の  
開閉は  
少なくしましょう



## ■紙使用量の削減

～前年度使用量以下を目標に！～



ペーパーレスを心がけましょう

## ■水使用量の削減

～前年度使用量以下を目標に！～



こまめに蛇口をとめ  
節水を心がけましょう

不要な水は出しっ放し  
にしない

水使用量の多い実験や  
活動を行う際は、できる  
範囲で節水に努める

# ③ ゴミの分別回収と排出量削減

## ◎正しい分別をしましょう

### 燃やせるごみ

- 生ゴミ  
※水分が多いためです。
- 紙くず  
※紙コップ・扇紙、雑誌類は資源ごみへ。
- 布類  
※サイズは40cm角以下、巾は20cm以下。
- 木くず  
※木片、棒きれ、剪定枝など  
※長さ30cm以内、長さ30cm以内  
※10cm以内の切屑でなければ  
※直径は3cm以内、重量は5kg以内

◎分別に当たっては必ずチェック！

### 燃やせないごみ

- 金属類  
※鋭利なものは、新聞紙に包む  
※丈夫な袋に入れてモックンと密着してください。
- ガラス・陶器類  
※鋭利なものは、新聞紙に包む  
※清潔な袋に入れてモックンと密着してください。
- 文具・日用品類
- スプレー缶・カートリッジポンプ  
※中身を抜いて、必ず空気を抜いてから入れてください。

◎分別に当たっては必ずチェック！

ごみの種類を認識しやすいよう、学内の主要なごみ箱の色を統一しました。ユニットでごみ箱を買い替える際は、可能な限り色を合わせてください。

### カン類

- アルミ缶、スチール缶類  
※アルミ缶、スチール缶、缶詰の缶、海苔の缶、お菓子の缶など

◎ご注意ください！  
一缶缶は、中身を洗い切って乾燥し、実験廃棄物管理に廃棄してください。

◎分別に当たっては必ずチェック！

### ビン類

- 飲料ビン、食料ビン、調味料ビン類  
※フタも分別して廃棄してください。

◎ご注意ください！  
実験用試薬などが入ったものは、必ず目の実験廃棄物管理で廃棄してください。  
※汚れが付着したものは、燃やさないゴミへ。

◎分別に当たっては必ずチェック！



### ペットボトル

- 清涼飲料水、しょうゆ、調味料などのペットボトル類

◎一緒に入れないでください！  
・チャップリン生協の専用BOXへ  
・ラベルがプラスチック製の色紙へ

◎分別に当たっては必ずチェック！

### お菓子袋、お弁当パック、カップ、ラベル、トレイ類

- プラスチック製容器包装  
お菓子袋、お弁当パック、カップ、ラベル、トレイ、ボトル類。  
※汚れがひどいものは、軽くすすいで廃とす。

◎ご注意ください！  
中身が残っているものは必ず取り除く。  
お菓子のパッケージ類は、燃やさないゴミへ。

◎分別に当たっては必ずチェック！

**【注意！】**  
お菓子の袋、弁当容器やトレイは、汚れていてもすべてプラスチック製容器包装です。

# ③ ゴミの分別回収と排出量削減

## ◎ 正しく廃棄しましょう

ごみは決められた廃棄方法に従って必ず決められた場所に廃棄しましょう。誤った場所や誤った方法で捨てられたごみが学内で散見されています。

正しい分別・廃棄方法はこちら↓

<http://ems.ou.u-fukui.ac.jp/iso/d-19.html>

〈誤った場所に廃棄されている例〉



可燃ごみ  
置き場

総合研究棟 I 東側プレハブ

不燃ごみ  
置き場



## ◎ 学内リサイクルを利用しましょう

廃棄する前に、まだ使えるものはまず学内リサイクルへ出品しましょう。廃棄物排出量の削減につながります。



# ④実験廃液・生活排水の適正管理・処理

## ■実験廃棄物・廃液回収



学内から排出される実験廃棄物は、実験廃棄物の貯留・廃棄マニュアルに則り、適正に管理および処理されています。

※実験廃棄物の貯留・廃棄マニュアルは実験廃棄物及び廃水等取扱作業部会のHPに掲載されています。↓

<http://ems.ou.u-fukui.ac.jp/bunkyo/haikibutsu.html>

## ■実験廃棄物処理方法オンデマンド説明会

### 実験廃棄物処理方法オンデマンド説明会

1. 趣旨説明
2. 文京キャンパスの排水検査体制について
3. 実験廃液の色区分について
4. 薬品等を飛散または漏えいした際の緊急処理について
5. 実験廃棄物等に関する法規制について
6. 実験廃棄物の処理方法・分別方法  
(含 ディスポ注射針, 小中学校)
7. 実験廃棄物の保管方法  
(実験廃棄物置場の取扱方法)
8. 個別相談およびアンケートの記入 (受講確認)

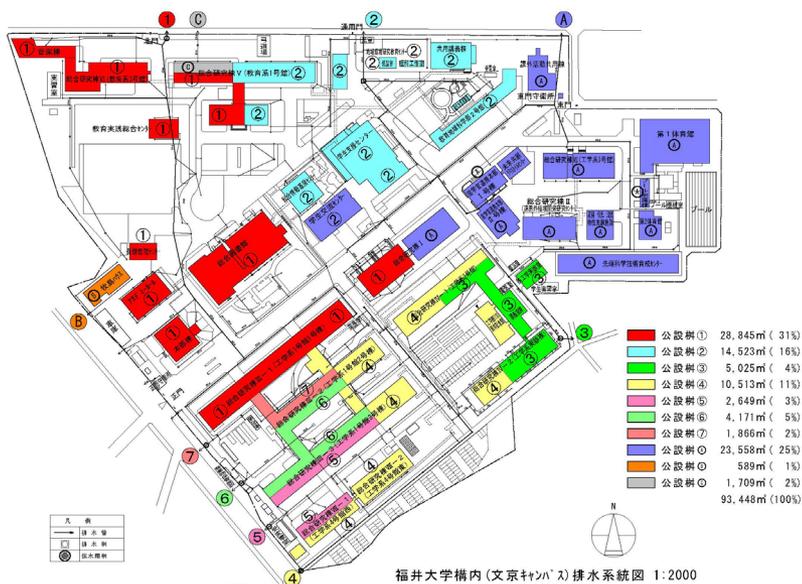
廃棄物及び廃水等取扱作業部会

薬品を使用し、実験廃棄物(廃液、廃試薬など)を廃棄する可能性のある教職員及び学生を対象に、毎年オンデマンド説明会を開催しています。例年、関係する100名以上の教職員・学生が参加し、実験廃棄物の保管・廃棄方法、緊急時の対応等を学んでいます。

# ■排水チェック

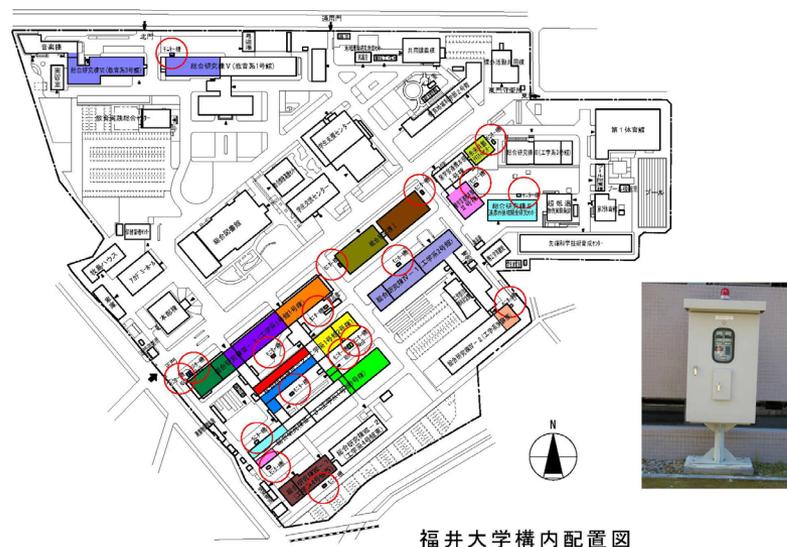
環境汚染予防及び法令順守のため、キャンパス内の排水は常にチェックされています。

## 文京キャンパス 構内排水系統



構内の排水は10系統に分かれています。

## 文京キャンパス pHモニタ槽



17箇所のpHモニタ槽にて、24時間監視しています。

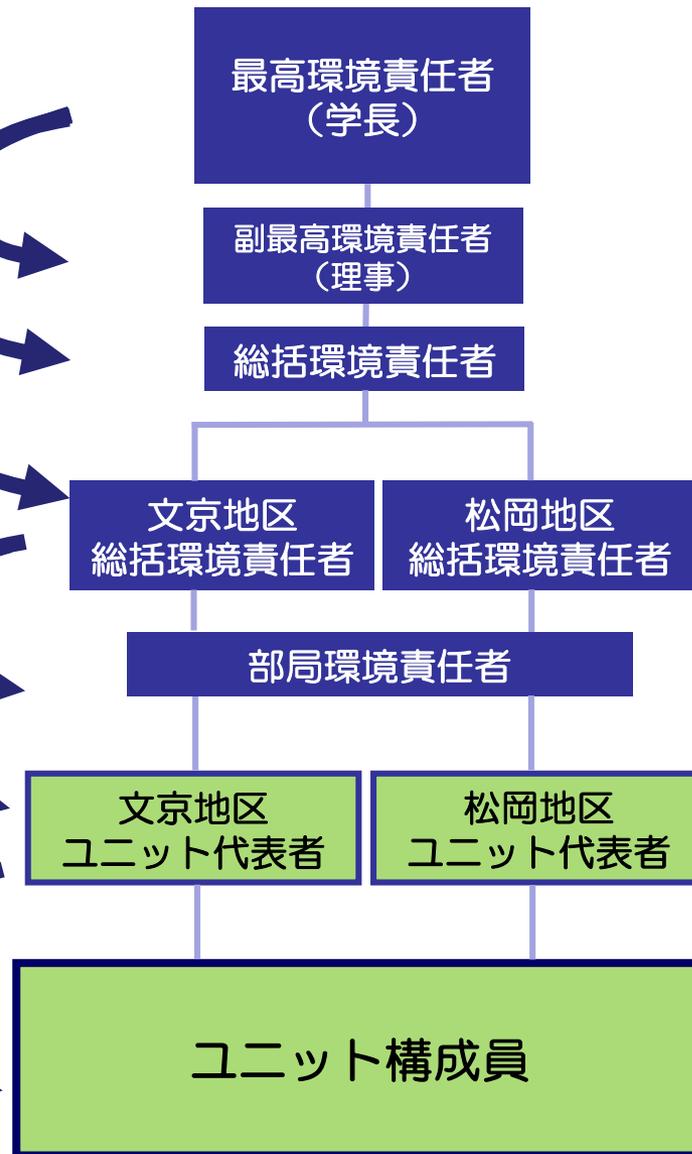
# ⑤ 環境保全に関する教育活動

## ■ 教育研修

●環境ISOトップセミナー  
(必要時)

●責任者及び代表者研修(本研修)  
実施者：総括環境責任者  
対象者：部局環境責任者  
ユニット代表者

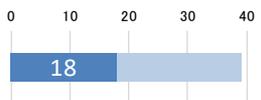
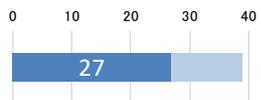
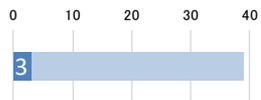
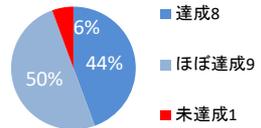
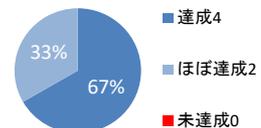
●ユニット内研修(後日)  
実施者：ユニット代表者  
対象者：ユニット構成員



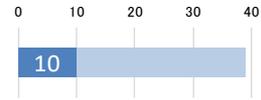
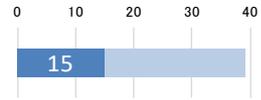
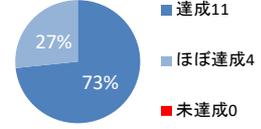
# ユニットの環境活動の自己評価

## 令和6年度

〈ユニット数〉39ユニット

総エネルギー	紙	水道水	法令順守(産業廃棄物)	法令順守(排水)
前年比1%の削減	前年度使用量以下に削減	前年度使用量以下に削減	産業廃棄物の適正管理 及び適正処理 (関連ユニットのみ)	排水基準の順守 (関連ユニットのみ)
選択ユニット数18 	選択ユニット数27 	選択ユニット数11 	選択ユニット数6 	選択ユニット数3 
 ■ 達成8 ■ ほぼ達成9 ■ 未達成1	 ■ 達成13 ■ ほぼ達成11 ■ 未達成3	 ■ 達成6 ■ ほぼ達成5 ■ 未達成0	 ■ 達成4 ■ ほぼ達成2 ■ 未達成0	 ■ 達成2 ■ ほぼ達成1 ■ 未達成0

※複数の目標に取り組んだユニットあり

学内環境活動(ごみ投棄)	学内環境活動(学内リサイクル)
環境美化の推進	環境活動の推進
選択ユニット数10 	選択ユニット数15 
 ■ 達成6 ■ ほぼ達成4 ■ 未達成0	 ■ 達成11 ■ ほぼ達成4 ■ 未達成0

令和6年度のユニットの環境活動は、総エネルギー及び紙の削減に取り組んだユニットが多く、そのほとんどが達成もしくはほぼ達成との自己評価でした。紙の削減について未達成が3ユニットありましたが、前年度購入量の関係や、新規事業に伴う増加など、やむを得ない状況を確認しました。その他、「モノクロでの印刷・コピーを徹底し、コストを削減した」「SDGsの視点で社会創生プロジェクトを推し進めた」といったユニット独自の取り組みも行われ、いずれも目標達成との自己評価でした。

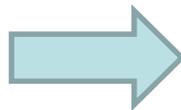
# マニュアル改定

## 環境マネジメントマニュアルの改定

### 第12版の主な改定ポイント

- 環境目標の変更
- 著しい環境側面の変更
- ユニットの統合、分割及び削除
- 手順書及び様式の追加・修正
- 現状に合わせた文言の追加及び修正  
etc.

マニュアルの最後のページに改定履歴があり、改定内容をまとめているので、ご確認ください。



(付表) 制定/改定履歴

版数	制定/改定理由	内 容	改定 ページ	発行日/ 改定日
第1版	制定			2015年 8月31日
2	第2版の改定履歴に記す			2016年 6月13日
3	第3版の改定履歴に記す			2017年 4月1日
4	第4版の改定履歴に記す			2018年 6月15日
5	第5版の改定履歴に記す			2019年 6月6日
6	第6版の改定履歴に記す			2020年 6月19日
7	第7版の改定履歴に記す			2020年 9月10日
8	第8版の改定履歴に記す			2021年 6月1日
9	第9版の改定履歴に記す			2022年 6月6日
10	第10版の改定履歴に記す			2023年 9月26日
11	第11版の改定履歴に記す			2024年 4月1日
12	環境方針の周知方法の一部削除	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針カードの廃止に伴う文言の削除</li> <li>その他、現状に合わせて文言修正</li> </ul>	7	2025年 4月1日
	ユニットの変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>「統合生理学」→「生理学」</li> <li>「生物数学」→削除</li> <li>「腫瘍病理学」と「分子病理学」→「病理学」に統合</li> <li>「内科学(2)」→「消化器内科学」と「神経内科学」に分化</li> <li>「内科学(3)」→「呼吸器内科学」と「内分泌・代謝内科学」に分化</li> <li>「地域健康学講座」→追加</li> </ul>	11	
	著しい環境側面一覧の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>「全面禁煙」「受動喫煙」「ゴミのポイ捨て」「排水処理施設からの漏洩」→著しい環境側面一覧から削除</li> <li>「排水の水質検査の実施」「機器・物品等の再利用」「油水分離槽の排水処理」「気候変動による災害」→著しい環境側面一覧に追加</li> <li>環境側面の文言を環境影響登録簿に合わせて文言修正</li> <li>著しい環境側面管理番号の修正</li> </ul>	20	
	環境目標の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>「受動喫煙の防止」の削除に伴う文言の削除</li> <li>著しい環境側面管理番号の修正</li> </ul>	25	
	研修等一覧の修正	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の「時期」を「回数」に修正</li> <li>委員研修及び内部監査研修の回数を「1回/年」に修正</li> </ul>	31	
	手順書の削除	<ul style="list-style-type: none"> <li>「PCBの安全管理と廃棄に関する手順書」の削除</li> <li>「実験排水処理施設の排水漏洩時の対応手順書」の削除</li> </ul>	36 37	
	記録一覧の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>「実験廃水処理施設(※松岡地区のみ) 県外産業廃棄物搬入実績報告書」の削除</li> <li>「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB処理特別措置法)」の削除</li> <li>「濃厚廃液処理施設 県外産業廃棄物搬入実績報告書(※松岡地区のみ)」の削除</li> </ul>	42 43	



# マニュアル改定

---

## 環境マネジメントマニュアルの管理

### 最新版データの取得及び管理について

環境マネジメントマニュアルは、通常年1回(4月)改定されます。

- 最新版(第12版)データは、施設と環境ホームページより取得してください。
- マニュアルは必要な時にすぐに閲覧が可能な状態を維持してください。
- 保管は電子媒体を推奨します。(紙媒体も可)
- 旧版は必ず廃棄し、最新版に差し替えてください。

# 手順書・法規制リスト・様式

手順書・法規制リスト・様式はホームページに最新版を掲載しています。  
ユニットが関係するものを必要時に随時ホームページでご確認ください。

## 手順書

- ・学内リサイクルに関する手順書
- ・廃棄物の排出に関する手順書
- ・紙の使用量削減に関する手順書
- ・冷暖房の実施に関する手順書 など

## 様式

- ・実施計画書
- ・実施報告書
- ・教育研修実施報告書 など

## 法規制リスト

- ・廃棄物処理法
- ・下水道法 など

手順書(学内限定)

区分	文書管理番号	手順書名	最終 改定	適用範囲 文京 松岡
水・土 系	FUB10-T1	厨房施設の汚水管理に関する手順書		○ ○
	FUB10-T2	濃厚実験廃液の排出に関する手順書		※1 ○
	FUB10-T3	廃棄物の排出に関する手順書	R4.4	○ ※2 ○ ※3
廃棄物 系	FUB10-T4	PCBの安全管理と廃棄に関する手順書		○ ○
	FUB10-T5	使用済み自動車の引き渡しに関する手順書		○ ○
通常	FUB10-T6	エネルギーの使用量削減に関する手順書		○ ○
	FUB10-T7	紙の使用量削減に関する手順書	R4.4	○ ○
資源系	FUB10-T8	実験器材の洗浄に関する手順書	R4.4	○ ○
	FUB10-T9	冷暖房の実施に関する手順書	H29.12	○ ※4
その他	FUB10-T10	学内リサイクルに関する手順書	R4.4	○ ○
	FUB10-T11	環境情報の広報に関する手順書	R4.4	○ ○
大気系	FUB20-T1	ボイラーの火災・爆発時の対応手順書	H30.7	○
	FUB20-T2	実験排水のpH値中和手順書	R6.4	○ ○
水・土 系	FUB20-T3	実験排水処理施設の排水漏洩時の対応手順書		○ ○
	FUB20-T4	地下タンクの重油漏洩時の対応手順書	R4.4	○
非常	FUB20-T5	重油・灯油漏洩時の対応手順書	R4.4	○ ○
	FUB20-T6	空調機のフロン漏洩時の対応手順書		○ ○
	FUB20-T7	ボンベ爆発時の対応手順書	H30.7	○ ○
	FUB20-T8	充電機の火災・爆発時の対応手順書	H30.7	○
薬品・ 危険 物・カ ス系	FUB20-T9	冷凍機の冷媒ガス漏洩時の対応手順書		○
	FUB20-T10	屋内貯蔵危険物の漏洩時の対応手順書		○

○ 改定履歴は [こちら](#) をご覧ください。

※1 福井大学文京地区廃棄物及び廃水等取扱要項に従う  
 ※2 他、福井大学文京地区廃棄物及び廃水等取扱規程に従う  
 ※3 他、福井大学松岡地区廃棄物及び廃水等取扱規程に従う  
 ※4 福井医科大学冷暖房実施要領に従う

施設と環境ホームページより

# 今後のスケジュール

時期	部局環境責任者	ユニット代表者
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マニュアルの保管状況の報告</li> <li>●ユニットから提出された「実施計画書」の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マニュアルの保管状況の報告</li> <li>●ユニット内研修の実施</li> <li>●「教育研修実施報告書」および「実施計画書」の提出</li> </ul> <p>※ 4月30日(水) 締め切り</p>
7月～8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内部監査の対応</li> </ul> <p>※対象部局のみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内部監査の対応</li> </ul> <p>※対象ユニットのみ</p>
9月～10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境影響調査の回答</li> </ul> <p>※全ユニット、構成員</p>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ユニットから提出された「実施報告書」(中間報告)の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「実施報告書」(中間報告)の提出</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部審査の対応</li> </ul> <p>※対象部局のみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部審査の対応</li> </ul> <p>※対象ユニットのみ</p>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ユニットから提出された「実施報告書」(年度末報告)の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「実施報告書」(年度末報告)の提出</li> </ul>

# お願い① (部局環境責任者 対象) ユニット代表者

## ① マニュアルの管理状況及び 環境方針カード廃棄の周知報告

1. 最新版マニュアルの保存及び旧版の廃棄
  2. 環境方針カード廃棄の周知
- ※スプレッドシートにてご報告ください。スプレッドシートのURLは、後日お知らせします。



保存

第12版以外は  
すべて旧版です



廃棄

# お願い② (ユニット代表者対象)

## ② 教育研修実施報告書の提出

FU720-2

教育研修実施報告書

		作成日	年 月 日
研修名		研修実施責任者	
実施日時	年 月 日 : ~ :	場 所	
対象者 (参加者)			
実施方法			
実施内容			
欠席者への対応	<input type="checkbox"/> 欠席者あり (対応: <input type="checkbox"/> 欠席者なし		
研修実施責任者 評価	参加者の理解	<input type="checkbox"/> 理解している	<input type="checkbox"/> ほぼ理解している <input type="checkbox"/> 不十分

※修了証、免許がある場合、そのコピーを添付すること

これは、**ユニット内研修**の実施報告書です。**赤枠内を記入してください。**

- ・責任者及び代表者研修の内容をユニット構成員に教育(伝達)し、この報告書を作成してください。
- ・欠席者がいた場合には、欠席者への対応も必ずご記入ください。
- ・「研修実施責任者」はユニット代表者もしくは研修の実施者としてください。
- ・研修実施責任者の評価には、研修の有効性、参加者の反応、要望等をご記入ください。

※様式は、後日メールにて掲載URLをお知らせします。

※年度の途中に採用された構成員には、随時教育研修を実施してください。(その際、報告書は必要ありません)





# ホームページのご案内

大学ホームページ → 大学案内 → 施設と環境への取り組み → 環境ISO

福井大学 施設と環境  
Facility and Environment

グローバルでローカル  
グローバルな視点でサステイナブルキャンパスを構築

トップページ プロフィール 施設企画課 環境整備課 環境ISO アクセスマップ お問い合わせ サイトマップ

環境ISO(14001)認証  
環境マネジメントマニュアル  
エネルギー管理課  
エネルギー対策  
エネルギーデータ(学内限定)  
学内リサイクル  
地球温暖化対策推進計画  
学内環境美化運動  
環境教育  
内部監査  
エコキャップ運動  
環境に関する受賞・表彰  
ゴミの分別・廃棄物処理方法  
安全衛生コンテント(学内限定)

入札 BID 入札公告に「福井大学(医病)高エネルギー診療施設手  
入札公告に「福井大学(医病)高エネルギー診療施設手術室改修機設備工事」を追加しました

入札 BID 入札公告に「福井大学(文京)産学融合拠点施設新宮設  
施設 FACILITY 「福井大学インフラ長寿命化計画(個別施設計画)」  
施設計画(概要版)」を策定しました

施設 FACILITY 「キャンパスマスタープラン2018」を策定しました

受賞 PRIZE 平成29年度「省エネ大賞」において「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました

施設 FACILITY 平成29年3月 「国立大学法人福井大学インフラ長寿命化計画」を策定

施設 FACILITY 平成29年2月 「国立大学法人福井大学におけるPPP/PFI手法導入優先的検討ガイドライン」  
を策定

入札 BID 入札参加業者等のみなさまへお知らせー 建設業者の社会保険等未加入対策について  
元都科学省では、平成28年4月1日以降に入札公告を行う工事については、社会保険等未加入企業は、元請  
請になれなくなっています。これに伴い、本学発注工事についても同様な取組をしますのでお知らせします。

環境 ECO 地球温暖化対策推進計画 CO<sub>2</sub>削減目標を新しく計画しました  
福井大学では、2013年度の本学のCO<sub>2</sub>排出量を基準とし、2016年～2030年の15年間を削減対象期間として、  
基準年度のCO<sub>2</sub>排出量から30%(9,000t-CO<sub>2</sub>)以上削減することを目指す新しい計画を立てました。

14:58  
62%  
14:30-15:00

●環境マネジメントマニュアル関連  
環境マネジメントマニュアル第12版、  
様式、法規制リスト、手順書

最新版はここでチェック！

●エネルギーデータ関連

●学内リサイクル関連

●環境教育関連  
本日の研修動画・PDF資料

●ごみ関連  
ごみの分別・廃棄方法

●電力の見える化  
電力量監視サイト(文京地区)

以上で研修は終わりです。  
お忙しい中、ご視聴いただきありがとうございました。

